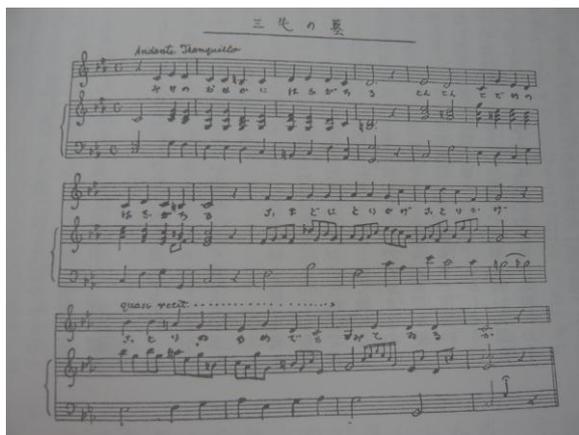




寺田寅彦日記より 音楽関係を拾う



東京愛用の留音機

- 明治25年 (15歳)
5.19 唱歌時間、例ノ如ク先生ヲ困ラシタリ
- 明治29年 (19歳)
3.30 尺八独案内ト云へる本を借りて帰ラントス
4.26 紙腔琴(しこうきん) ナド奏ス
- 明治31年 (21歳)
3.18 笛を携えて竜田山に登る
3.28 此夜も山に登りて笛を弄す
5.9 田丸先生のバイオリン弾奏を聞く
5.13 バイオリンを買わんとせしも成らず
5.19 バイオリン1個を購ふ(8円80銭)
5.20 竜田山に登りてバイオリンを弄す
5.22 下司君と竜田山頂に横臥してバイオリンを弾ず
5.23 山頂へバイオリンを弄しに行く
5.26 肥后琵琶の余興あり
5.29 立田山に登りてバイオリンを弄す
6.6 夕飯后竜田山に登りバイオリンを弄す
- 明治33年 (23歳)
9.8 漱石師洋行 横浜埠頭 船マルセイユを奏しつつ出発す
- 明治34年 (24歳)
1.1 田丸先生宅でオルガン聞かざる
1.5 高等学校でピアノ・オルガン弄ぶ
1.12 夜 バイオリン練習 ブラックスミスというを習う
1.20 田丸先生と音楽会へ リストのラブソデーは殊に面白く聞かれたり
3.16 バイオリンを弾く
4.10 陸軍バンド、ケーブル博士のピアノ、バイオリン等聞く その他・独唱
6.15 音楽会・メンデルスゾーン(本郷中央公会堂)
海老名弾正氏の耶蘇伝記を聞く(富田と)
10.26 安岡にて牧師説教あり
10.30 バイオリン引き、唱歌うたいなどす
11.17 オルガンの音我に従う
「われ等が従う一つの神に——
11.22 母上の手紙とヴァイオリンの糸とが来て居た
11.26 午前バイオリンを引きなど
11.27 午前バイオリンをならす
12.2 蝶一羽飛び来りてバイオリンの上を迷ふ
- 明治35年 (25歳)
1.12 亮と順来りバイオリンを教ふ
午後、第二中でオルガン練習。帰りて紙腔琴(しこうきん)を修繕す
1.15 午後、第二中に行きオルガンを弾く
1.16 夜母上 下女二人と梅田橋なる木遣りの節聞きに行く
1.17 夏子より手紙来る
1.30 終日バイオリンを弾く
2.8 夜は先生方に唱歌
夜は牧師上田氏来らる
2.16 オルガン。上田牧師の「信仰の定義」を聞く
2.25 バイオリンの音佳
2.26 安芸喜代香「キリスト教の徳」

- 多田素 (ただしろし) 「信仰の動機」 (八幡座)
- 2.27 安芸喜代香「天理人道」
多田素「キリスト教の神」
- 2.28 先生とバイオリンをひく
- 3.16 夜上田氏の説教あり
- 3.20 バイオリン・唱歌集を持ち沖へ
唱歌うたいつつ日没まで、讚美歌
- 3.23 唱歌うたう
- 3.24 讚美歌唱う
- 3.30 夜は協会に行く
- 3.31 バイオリン終日ひく
4. 3 土佐協会に行く 日曜学校を見る
4. 7 新約全書一冊求む。夏に遣わすためなり
4. 8 亮を訪い讚美歌原文を見る
- 4.12 夏片山にて診察を受く
- 4.14 精と青葉繁れるを歌う
- 4.17 三弦にバイオリンを合わす
- 4.27 バイオリンをひく
- 4.28 バイオリンをひく
- 4.30 新約全書一冊求める
5. 7 オルガン引き
- 5.26 夜バイオリンひきて、別役の子らに唱歌聞かす
- 5.28 雨の中に草取歌聞へて悲しげなり
- 5.30 午前読書音楽
6. 8 第二中へオルガンひきに
- 6.12 砂川牧師来訪
- 8.30 高等学校でピアノをひく
9. 9 ピアノをひく
- 9.23 オルガンを引く
- 9.29 モーツァルトのアンダンテの初めの段暫く練習。終わりぬ
- 10.17 オルガン・ピアノをひく
- 10.18 音楽学校慈善音楽会に行く
- 11.15 夏 夜十時死去 (11. 19埋葬)

明治36年 (26歳)

1. 2 高等学校に行き試弾
1. 4 二階に上り唱歌など唱い・・・
1. 7 音楽の友買う
- 1.14 音叉の実験をする
- 1.20 ドーリング商会へ音譜を注文す
- 1.25 ピアノ
- 3.21 神田青年館ピアノ・バイオリン演奏会あり
- 3.28 バイオリンをひく
- 4.19 バイオリンをひく
- 5.31 バイオリン鳴らしなどす
6. 6 上野コンサートに行く
- 6.25 ピアノをひく
- 9.23 オルガンひく。神楽を見る
10. 3 隣なる桜井塾のピアノ聞ゆ

明治37年 (27歳)

- 1.14 バイオリン返しに行く
- 1.28 門を法界通る

2. 8 夜学校へバイオリン持ち行き nodal line を求めたれども不十分なり
2.29 夜隣室に義太夫などあり賑ふ

明治38年 (28歳)

1. 3 琴三弦バイオリンにて六段など合す
1.15 バイオリン引く
1.21 夜間唱会、劇の話
8.15 寛子の須磨琴を取り寄す
8.30 バイオリンを弾く
9. 2 野村君に会い、一所に行く。ベートーベンのエグモント大序
ウエーベル 舞踏招待。トーマスの夏の夜の夢等あり
9.23 田丸先生方へバイオリン持ち行き、シューベルトのアムメーアを合す
10. 1 バイオリンを弾く
10.12 田丸先生を訪い合奏
10.14 田丸先生を訪い Heimweh の練習す
10.29 上野音楽学校演奏会に行く。イフゲニア・ローヘングリンなどあり
12.31 夜炬燵して唱歌をうたう

明治39年 (29歳)

1. 2 バイオリンを弾く
1.21 朝バイオリンを弾く
1.22 バイオリンを引く
1.27 バイオリン引き唱歌をうたふ。田丸先生を訪いツルのスコンドロマンス合奏
1.28 //
1.29 //
1.30 共益商社にて楽譜を求む
2. 3 田丸先生とスコンドロマンス練習
2. 5 バイオリン引く
2.24 田丸先生方にて合奏
ドイツより合奏曲譜到着
3.11 唱歌うたう
3.24 田丸・前田合奏
5.20 音楽学校演奏会ケーベル師のピアノ
10.13 田丸先生方にて久しぶりの合奏
10.21 バイオリンをひく
10.28 夏目先生と上野音楽会へ行く

明治41年 (31歳)

- 1.26 東一にハーモニカの玩具を求め帰る
1.29 神田青年館の四部合唱
君ガ代・流浪の民等あり
2. 1 夜オルガンを引く
2. 2 共同商社 重唱唱歌集を求む
夜「帰雁」の練習
2.16 ピアノにてコンビネーショントーンの実験をする。「唐音笛譜」「雅楽心得」、求め
帰る
2.21 東一の太鼓を学校に持ち行きて実験す
3.21 音楽学校演奏会モーツァルト弦楽五部合奏 トロイメライ
3.22 上野コンサート ドボルザーク
3.30 活動写真を見に行く。東一の手風琴を買いて帰る。東一手風琴を鳴らし大喜ぶ
4. 1 琵琶の余興あり
6. 6 太鼓について発表
6. 7 上野音楽会

- 8.24 夜バイオリンひく
- 8.28 つくつくぼうし鳴く
- 10. 1 尺八の音楽的研究 (学位授与式)
- 10.26 夜、入浴オルガン

明治42年 (32歳)

- 4. 4 早朝楽隊讃美歌を奏す
- 11.15 宿屋のピアノで君が代を奏し喝采を厚し候 (ベルリンの宿)

明治45年 (35歳)

- 3.19 唱歌をうたふ

大正3年 (37歳)

- 2. 1 寛子、弥生をつれて帝劇に行く
- 3.30 夕飯後弥生ピアノに合わせて歩き廻る
- 4.27 伊東氏の跡へ弘田正郎氏移り来り、其家にてピアノ時々聞ゆ
- 10.17 恤兵音楽学校に行く。弘田竜太郎氏も出演す
- 10.30 夕方、弘田竜太郎氏婚儀挙。貞子酌に行く

大正6年 (40歳)

- 1.28 演奏会。ベツオルト夫人のベートーベン グリーヒの作品独演
- 10.19 寛子死去 (12.22 埋葬)

大正7年 (41歳)

- 1. 4 三光堂にて蓄音機及び音譜若干求む
十字屋にて西洋音譜数種購入
夜蓄音機をかけ一同集まりて楽しむ
子ども達も大いに喜ぶ
- 1. 6 十字屋にてレコード若干求む
- 1.15 ピアノ調律師来る
- 1.27 レコード二つ求む。歌劇ドンブランコの譜本を求む。帰宅弘田翁来り居れり
- 7.23 午後バイオリン久し振り出す

大正8年 (42歳)

- 9.12 夕食後ピアノ

大正12年 (46歳)

- 1. 4 バイオリンをやる
- 1.16 弘田氏へよる
- 8. 4 神田へ行ってバイオリンの譜を買ふ
- 8.13 つくつくぼうしが鳴く
- 8.18 レコードを三枚買う
- 8.19 バイオリン奏法の本求む

大正13年 (47歳)

- 4.14 弘田さんへ行く。高井で楽譜を買う
- 6. 5 午後子どもと十字屋へ行きレコード求め
- 12.31 朝第九シンホニーをかける。十字屋で指揮棒を1本買う
- 主な事 同演奏会を聞く
(音楽関係) ジンバリストのクロイツェルソナタを聞く
自分のバイオリン、ホーマンの3の中頃迄、前途遼遠

大正14年 (48歳)
 1.6 暮に音楽学校で第9シンホニーを聞く前からスコアを見て、タクトを取りながらレコードを聞くことをやってみたが面白さがちがう。西洋音楽の一部はたしかに耳ばかりで味はないのでからだで味ふものだと思う。
 1.26. 弘田さんへ置き忘れた譜本をとりに行く
 3.21 BachのChaconneのレコードを買って来た
 8.15 共益商社でHammig Cello)を買った。(250y)
 それから今月初めに十字屋でFrench Horn (130y)を買って、急に楽器が増した。

昭和3年 (51歳)
 9.19 水口さん来る。Oriental 終了。Nelda Berceus もう一回
 9.21 酒井さん来る Grutzmacher Fantaisie Hongroise 終了

昭和5年 (53歳)
 11.12 夜酒井さんセロ
 11.13 夜水口氏ヴァイオリン

昭和6年 (54歳)
 1.1 浜口喬夫来り合奏などする
 1.3 長谷川君来り合奏

昭和7年 (55歳)
 11. 末から藤岡由夫(セロ) 坪井忠二(ピアノ) 寺田寅彦(バイオリン)
 (昭和10年まで続ける)
 12.7 酒井さんのトリオの会

昭和8年 (56歳)
 4.8 中谷も来る。トリオ出来ず
 12.13 夜坪井君とスプリングソナタ合奏

昭和9年 (57歳)
 1.1 藤岡君夫婦来りハイドントリオ試む
 12.31 十字屋でブラームストリオ、子どもらとトリオ

昭和10年 (58歳)
 1.2 トリオの譜ベートーベン・シューベルトを求む
 1.8 トリオ
 1.30 グリーヒのペールギント Trioを求む
 夜水口さん 坪井君とクロイツェルソナタ
 2.12 正二来りトリオなど
 2.27 夜トリオ
 7.2 酒井さん坪井君来りセロ

田丸卓郎	熊本・東大時代の物理学の師	バイオリン・オルガン
酒井 悌	音楽学校教授 (T14頃)	セロ
水口幸磨	〃 (大12頃)	バイオリン
弘田竜太郎	〃	バイオリン

寅彦のチェロ T14.8.15 セロを買う (250y) 共益商社 外国製 県立文学館か。
 5月頃 セロを買う (200y) 山名楽器
 その他の楽器 笛 (どんなものか) 紙腔琴 (西洋楽器ハンドルを廻すと音が出る) 手風琴、琴、ピアノ、須磨琴 (一絃琴の推称)、ホルン

楽譜

独唱歌・合唱曲・リードオルガン曲集・バイオリン・セロ独奏曲集
バイオリンセロソナタ・3重奏・4重奏曲・オーケストラスコア（第9等）
「白鳥」（サンサーン）「アニトラ」（ペーアギント）画譜
セノオの楽譜あさり歩く（T14.9.1）

レコード

チャイコフスキー悲愴 ベートーベン第9・第5 ワグナー シューベルト
資料提供 恒石直和寺田寅彦記念館友の会顧問